

はにわ通信

No.194 平成23(2011)年5月号

【地域の歴史を学ぶ～子どもたちの歴史学習をお手伝いしています～】

ゴールデン・ウィーク間近のこの時期、はにわ館には、たくさん子どもたちが見学に来てくれます。ほとんどが小学校6年生ですが、時には幼稚園の子どもたちも……。

第2展示室で開催中の「大昔の暮らし」では、松阪市内の遺跡から見つかった石器・土器など本物の資料とともに模型やレプリカを使って、子どもたちに歴史を身近に感じてもらえる工夫をしています。ケースの前では、目を輝かせて土器や石器をじっくり観察する子どもたちの姿があります。また、出前授業を行ったある学校では、実際に縄文土器をさわったり、持ったりする体験をしてもらいました。みんな、最初はおっかなびっくりですが、土器の重みや手ざわりで感動してくれます。子どもたちは、本物のもつ迫力に感動するのだと思います。説明の中で特に強調するのは、教科書で紹介されている遺跡と同じ時代に、私たちの松阪地域でも、人びとが同じように暮らしていたこと。大昔の人びとの暮らしの跡である「遺跡」は、意外と身近にあるということです。「織田信長や豊臣秀吉が松阪まで攻めてきた」などと話すと、とたんに子どもたちの目が輝きます。それまでよそ事だった歴史が、より身近なものに変わるからです。

みなさんも、自分たちが暮らしている地域の歴史に目を向け、興味がわいたいろいろの事を調べてみませんか？きっと教科書では学ぶことのできない、貴重な発見をすることができますよ。

(担当)



粥見井尻遺跡(飯南町粥見)で大昔の暮らしを体験する子どもたち

【5月の風と・・・】

たまたま だいす
偶 題

うけん
于謙

くんぶう いづこ き
薫風 何処よりか 来たり。

わ ていぜん き
我が 庭前の樹を 吹く。

ていちょう はんいん
啼鳥 繁陰を愛し。

飛び来たりて 飛び去らず。

(こちよい初夏の風がどこからかきて、庭さきの木にふいている、さえずる鳥は木かげを愛し、飛んできたまま飛びさろうとしない。)

わか葉のかおりをはこぶさわやかな風、木々のみどり、さえずる小鳥、文化財センターの中庭や鈴の森公園は、すっかり初夏のよそおいになりました。

はにわ館の第二展示室で開催中の前期企画展「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる～(縄文・弥生時代)～」は、連日、たくさんのお小・中学生のみなさんでにぎわっています。ことしの展示には、国史跡天白遺跡(嬉野釜生田町)から見つかった県の埋蔵文化財センターにある土偶(人や動物などのかたちにつくられた土人形)や縄文土器、石器などがくわりました。なかには、天白遺跡のマスコットキャラクター「ダンシングテンちゃん」のモデルになった土偶もあって人目をひいています。これらさまざまな形の土偶は、ひとつの遺跡からみつかった数としては県内最大規模で、天白遺跡が縄文時代の人々にとってたいせつなマツリノ場であったことをよくものがたっています。



みん
于謙 明(1368～1644)時代の政治家・詩人
(所長)

【文化財センター はにわ館・ギャラリー 5月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ・前期企画展「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる～」 4/16(土)～6/12(日)

【ギャラリー】 入場無料

第1ギャラリー ・松阪公民館絵画グループ第35回カンバス展

5/10(火)～15(日)*10日は13:00から、15日は16:00まで

・廣岡節子布花教室作品展 5/17(火)～22(日)*17日は正午から、22日は16:00まで

・第32回日本画グループ「彩」展 5/24(火)～29(日)*24日は正午から、29日は16:00まで

第1・2・3ギャラリー・星野富弘花の詩画展 ～5/4(祝)

開館時間: 9時から17時(入館は16時30分まで)



バーコード読み取り
(文化財センター情報)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>